

豊町 ふるさと会館だより

Tel & Fax 04-7169-1101
〒277-0863 柏市豊四季 951-10

消防訓練に参加しましょう

1月28日(土) 起震車も来るよ!

ふるさと会館で、午前10時から訓練を実施します。不特定多数の人が出入りする施設では、年に1回以上の訓練が義務づけられており、当館では1月に実施しています。当日は家庭ではできない、さまざまな訓練メニューを用意しています。



また、平成18年6月より消防法の規定で、住宅の火災警報器の設置が義務化されました。あれから10年。そろそろ内蔵されている電池の交換時期がきます。訓練を機会にご自宅の防災点検をしてみたいかが。備蓄品の確認をしたり、新しい防災用品の情報や防災知識を得るためにも、この日をご家庭の防災点検の日と定め、訓練に参加してください。



ふるさと会館を利用しましょう

新しい教室も増えました!

ふるさと会館では、現在「そろばん教室」/「パソコン倶楽部 PCC」/「絵手紙の会」/「健康体操つくしんぼの会」/「自彊術カモミール豊町」/「ママの寺子屋」/「お昼寝アート」/「扇帆海会」/「豊町健康麻雀クラブ」など、カルチャー、健康体操、子育てといったサークルが利用しています。

会員募集中

1月からはフラワーアレンジメントなどの教室「フラワースタジオ Vis」が開講します。興味のある方は見学もできます。季節の花を楽しみながら、生花をアレンジします。講師はマミフラワーデザインスクール南柏教室主宰、池田美千代さん。同スクール講師資格の取得も目指せます。

問い合わせ
04-7143-3024 (池田)

(注) ふるさと会館は
12月24日(土)~1月6日(日)
休館(管理人不在)となります。
会館の利用はできますので、
早めにお申込みください。

ふるさと会館事務所
04-7169-1101



●地震の継続時間や震度を過去のデータに基づいて再現してくれる起震車。実際の“ゆれ”をぜひ体験してみてください。

●実際の消火器と同じ操作ができる水消火器を使って初期消火訓練をします。



●119番の緊急通報訓練は実際に通報を受ける職員が対応してくれます。あなたは落ち着いて話せますか?

●非常食アルファ米の試食です。50食分の再生を実演します。事務局婦人部の皆さんの手づくりカレーで召し上がってください。



●ご家庭の消火器防災品の点検も忘れずに。当日は防災関連グッズの販売も行います。いざという時に必要なのに見落としがちなのが消火器。一般的な家庭用の消火器の耐用年数は5~10年です。購入後5年以上たったものは、ラベルを確認してみてください。



発行：豊町東町会 編集：事務局広報部
お問合せ 豊町ふるさと会館 Tel & Fax 04-7169-1101

今号のご案内

- 餅つき大会のご案内
- 防犯診断実施中
- 町会史編纂中間報告
- 秋のトピックス
- ふるさと会館だより

'2017 新春餅つき大会

1月8日(日) 豊小学校校庭



豊町東町会の年頭の恒例行事「新春餅つき大会」に、ご家族で参加しませんか。豊小学校の校庭に町会の大勢の人が集まり、新年を祝いながら楽しいひと時をすごすイベントです。成年部、子供会、婦人部が中心になって、前日から準備。当日はかまどでマキをたいて、90kg(27臼)の餅をつき、手作りの豚汁とともに無料で参加した人に振る舞われます。

●防災訓練も兼ねます

イベントは夏まつりと同様に、防災訓練も兼ねています。緊急避難場所である豊小学校への順路を確認してもらい、小学校の先生と町会の人と一緒に校庭で煮炊きする。避難・炊き出しの訓練でもあります。近くの低見台公園にある町会の防災倉庫から資材や機材をリヤカーで運んでもらうことも訓練の一環。町内の人絆を深めて災害に備える機会としましょう。



●「はしご乗り」の実演も

町内の「高橋鳶」さんのご厚意により、伝統ある本格的な「はしご乗り」を披露していただきます。江戸の火消しから現在の鳶職人に引き継がれている日本固有の文化で、柏市の出初式でも花を添えています。

木遣(きやり)節とともに纏(まとい)をかざしながら登場する「柏若鳶会」の皆さんの素晴らしい妙技をぜひ、間近でご覧ください。豊小の卒業生もいますよ!



また昔ながらのお正月の遊び、羽根つき、コマ回しなどを体験してもらおうと、今年もシニアクラブ「明寿会」の皆さんが子供たちに遊び方を教えてくれます。食器とお箸を持参して、ご家族やご近所を誘ってお出かけください。

1月の防犯診断は1区と4区

自分の町の防犯力を確かめる

豊町東町会など7町会で構成する柏市防犯協会富里支部では、各町会の防犯診断を行っています。当町会でも12月17日に2区、3区で実施しました。1月は1区と4区で実施します。

1月14日(土)

地域	集合時間	集合場所
1区	10:00~	豊町ふるさと会館
4区	13:00~	豊町ふるさと会館

柏市防災安全課や柏警察署から指導員に来ていただき、皆さんと一緒に地域を回りながら、防犯上問題のある個所をチェックします。町の現状を実際に見ながら、空き巣が入りやすい環境、ゴミ置き場の状態でわかる犯罪発生率などについて専門家が指導、解説してくれる“体験学習”です。自分の町の防犯度を確かめ、犯罪の少ない町にするためにも、多くの人の参加をお待ちしています。

緑ヶ丘町会の診断風景



申し込みは不要。直接ふるさと会館へ集合してください。



小金原勝景絵図

地域の歴史を紐解く

町会史編集委員会中間報告

来年度に 20 周年、前町会からは 71 周年を迎える記念として「町会史編集」事業をスタートしました。皆様のご協力で資料が集まってきましたが、今号ではその一部をご報告します。

「豊四季」地名の由来

江戸時代、いまの東葛地方には広大な小金牧（幕府の放牧地）が置かれていました。明治維新を迎え、政府が碌を失った下級武士救済のため小金牧へ開拓民を送り込みました。



野馬除け土手

人が住むため地名が必要となり、開拓の順番と美称を組み合わせた地名が生まれました。初富（鎌ヶ谷市）、二和（船橋市）、から十余二（柏市）、十余三（成田市）まで 13 の地名がつけられ、4 番目が「豊四季」でした。当時の豊四季は「上野牧」と呼ばれた地域で、北は流山市

の江戸川台付近、西は富士見町付近、南はわが町会や名戸ヶ谷、柏駅周辺あたりまで、非常に広い地域でした。（略）



柏競馬場に向かうバス

「豊町町会」創立

豊四季村は大正 3 年に隣接の千代田村と合併して「千代田村豊四季」になります。大正 15 年、千代田村から柏町に。（略）

当町会の前身である「豊町町会」の発足は終戦直後の昭和 21 年までさかのぼります。当時「豊四季二区部落」と呼ばれた中のおよそ 200 世帯で構成



終戦直後の豊町

されていたようです。初代会長に高橋一成さん（S. 21～S. 42）が就任。2 代目に松崎喜久司さん（S. 43～S. 58）、続いて吉田行雄さん（S. 59～H. 9）と 3 人の会長が約 50 年間、町会を支えてこられました。ほかにどんな人がたずさわっていたのか、どんな活動をしてきたかなどを示す資料は現在調査中です。（略）



新市制祝賀仮装行列

昭和 29 年 9 月、田中村、柏町、土村、小金町が合併して「東葛市」が誕生。しかし小金町住民の大半が松戸市との合併を望み、同町の一部と富勢村の一部を編入、「柏市」が同年 11 月に発足しました。（略）

なぜ「豊町」町会なのか。昭和 10 年ごろ地名があったという説もありますが、さまざまな文献でも「豊町」の地名はありません。しかし、たとえば東武バスのバス停に「豊町」「豊町東」があり、昭和 42 年竣工の「豊町青年館」（現ふるさと会館）、昭和 45 年に廃止された常磐線の



大火前の駅前商店街

「豊町踏切」、踏切にかわってできた「豊町踏切歩道橋」など、昔からあるさまざまな施設に「豊町」とつけられています。

「豊町東町会」誕生

世帯数の増加などにより平成 10 年に JR 常磐線を境に東西に分割。「豊町東町会」と「豊町西町会」が誕生しました。東町会の初代会長は今井恒夫さん（H. 10～H. 23）。同年ふるさと会館を大改装してスペースも広げ、地域のカルチャー教室などに広く開放しています。

平成 9 年に低見台公園にあった資材倉庫が放火で焼失。夏祭のない東町会のスタートとなりましたが、同公園で行っていた夏祭りが、現在の豊小学校を会場にするきっかけとなりました。以後、生徒の大半を当町会の子供たちで占めている豊小学校との絆は深まり、冬には餅つき大会、近年では定期総会も豊小のお世話になっています。



豊町ふるさと会館



町内の出来事

● AED 講習会を区単位で実施

町会主催で行ってきた講習会ですが、より多くの皆さんに参加してもらうために、今年は 9 月の 2 日間、各区が中心となって実施しました。AED の使い方や簡単な救急救命の方法などを真剣に学ぶ一方、講師が顔見知りの地元消防団だったからか、参加者は終始余裕を持った表情でした。



● 今年のバスツアーは秩父めぐり

9 月 14 日、婦人部が企画した秋の日帰りバスツアーは 34 人が参加し、埼玉県巾着田公園の曼珠沙華見物などの秩父をめぐりました。「巾着田」という珍しい名前は、高麗川が蛇行



する形が巾着に似ていることに由来するとか。500 万本あるという花は満開ではありませんでしたが、楽しめました。秩父まつり会館では、勇壮な秩父まつりの映像を見て、実際のまつりに思いをはせ、長瀬の石畳には心を洗われ、秩父の秋を満喫した旅でした。

● 雨中の「炊き出し訓練」

秋恒例の「炊き出し訓練」が 10 月 8 日、低見台公園で行われました。町会の自主防災組織が年間を通じて行っている訓練のひ



とつ。災害発生を想定して、事前の準備をせず防災倉庫に集合。かまどや釜、電動のこぎりなどの道具を出して野外炊飯を行いました。隣接の豊町西町会からも 10 人が参加し、約 60 人が火を起こしたり、マキを作ったり、米を洗って炊飯の支度をしたりと、初心者を中心に体験。まわりから様々な“意見”が出る中できあがったごはんは硬めで少し芯もあり「なんとか食べられる？」もの。途中激しい雨になりましたが訓練を続行。いざという時みんなが協力し合っ

● 公園のトイレを取り換え

低見台公園のトイレは老朽化したため撤去、近くのグランドゴルフ練習場（10 月に閉鎖）で使っていた新しいものを公園奥の、邪魔にならない場所に移設しました。

地域の出来事

● 盛況だった体育祭（11 月 16 日）

できるだけ「出たい」人を優先にして臨んだ体育祭でしたが惜しくも僅差の 4 位に。しかし選手も応援する人もひとつになって過ごせた一日でした。



● 地域の作品発表の場に

11 月 5 日、6 日に開催された文化祭には、町内からはサークルや個人、豊小やくりの木幼稚園の子供たち、校長先生の絵画、書など多くの作品が出展されました。当町会としても「うどんとおにぎり」の模擬店を出店しました。

● 秋のミュージックコンサート（11/12）

豊小学校では、クラスのカベをとり払い、学年全員で合唱や合奏を発表する「秋のミュージックコンサート」を開きました。またこの日はリニューアル中だった給食室の工事が完成し、給食再開の初日で、大人気のカレーが提供されました。



編集後記

小学校やマンションで危険だから知らない人には挨拶しないように決めた、という報道がありました。12 月の町会の会議でこれが話題に。「挨拶するのと、知らない人と話をしないのは別。むしろ挨拶をするキャンペーンをしたいぐらいです」と挨拶の必要性を強調するのは、3 区の三井区長。同調する人がほとんどでしたが、みなさんはどうお考えですか。今号では新春餅つき大会、消防訓練、防犯診断など町会や会館の行事のお知らせをしました。こうした催しに参加することで地域のつながりがひろがってゆけば、と思っています。

（事務局広報部）